

マイ・タイムラインについてのはなし

最近、いろいろなところで、ワークショップなどで盛んになっていますのでよくその内容について聞かれることがあります。一言で言えば、災害が発生した時にどのタイミングで適切な避難を始めるのか、いわばスタートする状況を事前に想定して、それに合わせて様々な情報を取り入れることを準備するというか訓練しておくためのものになります。

これまでの災害のたびに言われてきているのは、警報などを出してもすぐに行動を起こさない、起こせないというような状況があつて、実際に避難できなかつたり最悪の場合には犠牲者になつたりした例もあります。

自然災害は必ず来るものではありませんが、いつ来るのかはわかりませんし、どのようなことが起きるのかは、実際に起きてみないと何ともいえないというのも事実です。思わぬ、想定外のことが起きますし、あとから考えるとそれなりの理由はあるのですが、災害はそれだけ多様性のある現象であるということだと思われまふ。したがつて、事前にこのようなときに、このような行動をするといつてもその通りにはならないので、とつさに災害勘と応用力を駆使して適切な行動が必要になります。言つてみればサッカーの試合で、瞬間の状況を見ながら、味方に声掛けをしながら動いていかないとゴールにたどり着かないというのと同じだと思ひます。

災害時の避難は確かに勇気がいることすし、できれば避難したくないわけです。これまでも災害時に適切な避難が行われなかつた事例は少なくありません。その時々アンケートなどによれば、警報が出ても自分だけは大丈夫、これまでも何もなかつた、警報のたびに避難しては身が持たないなどが報告されたそうす。

災害は刻々状況が変わりますので、先が読めませんが、大事なことは正確な情報を手に入れて、先を読みながら先手を打つていくことす。そのために、災害があつたらどう行動するのかの基本パターンを日ごろから頭に入れておくことす、無駄のない適切な行動ができるということす。災害があれば警報に従つて避難所へ行くことなので、特に難しくないと考えがちですが、実際には突然の災害で頭が真っ白になつて、どうすればよいかわからなくなるといふことが経験した方々の多くの人が話しています。

そのために、マイ・タイムラインといふスケジュール表を持ち合せて、災害時に柔軟に考えて行動することが薦められています。そうすることす、あつてずに余裕を持つて行動して避難できることになります。そして、情報を正確に判断するためにその情報の意味を理解しておくことが必要となります。つまり、いつ、何をすることすのかといふのを整理しておいて、いざといふときにそれを基本にさまざまに状況に合わせていくことすになります。情報で大事なことはその警戒レベルを理解することが基本で、避難のタイミングに直結します。マイ・タイムラインを作るといふことは、知る、気づく、考えるといふ段階をベースにして、確かな情報のもとに、避難するプロセスを組み立てることすもあつます。自分の命も家族の命も自ら守るといふ意識をもつて、逃げ遅れないことを最重点にしていきたいものす。